

「森の散歩道」周辺の 見どころ紹介

①池上曽根史跡公園

(いけがみそねしせきこうえん)

およそ二千年前の大規模集落跡で、地域の貴重な文化遺産です。

②和気道 (わけみち)

助松、森、北曽根、南曽根、宮の各地区を通り、泉穴師神社、要池の堤（現在の府営泉大津要池住宅の北側に接する道）を経て和泉府中に至り、小栗街道を経て槇尾川を渡り和気地区の妙泉寺に達する道は「和気道」と呼ばれています。条里制で区切られた土地を斜めに横切ることから、奈良時代の条里制以前の古い道であることがわかります。

③布引の道 (ぬのびきのみち)

北助松駅から山側へ延びる市道助松千原線は「布引の道」と呼ばれています。

「布引」の名は、和泉市の聖神社の神様（信太大明神）が助松の浜から上がってこられる際に、信太郷まで布を引いたためその名がついたためと伝わっています。



いずみおおつ
森の散歩道

「森の散歩道」は、地域の方々の参加による「南海中央線北伸事業における歩道づくりワークショップ」でつけられたキャッチフレーズです。